

中央区まちづくり事業アイデア提案に伴う協議の状況

	事業名及び状況
1	<p>中央区お宝探検隊(前回名称：中央区探検隊プロジェクトと子どもたちの校区お宝探しを合わせたもの) 作業部会2回開催(9月17日、10月7日) 大人と子どもがそれぞれ校区を探検し、5つくらいのお宝発見し物語を含めたお宝マップを共同で作成しながら交流を図る。将来はまち歩きルートを作成し、校区のまち歩き等につなげていく。また、区民は他校区のまち歩き等に参加し交流を図る。 校区お宝探検隊事業は、25年度からの継続事業である「校区かるた事業」と並行して同時に進める。</p>
2	<p>水前寺賑わいづくり支援(前回名称：水前寺界隈のまつり開催) 作業部会5回開催(8月19日、9月2、16、30日、10月14日) 新水前寺駅近くにある「戸井の外公園」をコアとして、水前寺界隈を巻き込んだ「水前寺月間」を区民と行政が協働して開催 ①賑わいづくりに向けた関係団体の連絡調整と情報発信 ・のぼり、ステッカー、チラシの作成 ・イメージキャラクターの広報協力 ・熊本城から水前寺・江津湖までの歴史・自然ウォークのマップ作成 ②水前寺界隈まつりの共同開催 ・イベント会場の設営等の支援 イベント実施時期 平成26年10月頃(水前寺成趣園の秋季大祭に合わせて実施予定)</p>
3	<p>アクティブシニア増殖プロジェクト(前回名称：シルバー活性プロジェクト) 作業部会2回開催(9月11日、10月2日) アクティブシニアの志望者を発掘・育成、地域社会へつなぐ 【第1ステージ】シニア人材の発掘 食、文化、スポーツ・健康、起業などの活動テーマごとに入門的な研修を実施する。 【第2ステージ】シニア人材の育成 プロデュースするために必要な技能を身につけるための実践的な研修 最後にはひとつの事業を総合研修として企画・実施する。 【第3ステージ】シニア人材の活用 中央区アクティブシニアとして登録し、活動を展開する。 ↓ 地域社会で事業の展開</p>
4	<p>アートのまちづくり 10月16日(水)提案者と事業内容について協議 毎月第2日曜日に開催されている河原町「アートの日」を足がかりに、その取り組みを区内に周知し、アートのまちづくりを広げていく。 取り組み(提案)の一例 市電を使っでの取り組み ・河原町電停のアナウンスにアートの町等を入れる。 ・アートのラッピング電車を走らせる。 河原町アートの通りをアートの石畳にする。等</p>
5	<p>清掃ボランティア券の発行 8月14日(水)提案者と事業内容について協議 毎月第3日曜日の大江桜公園清掃及び春秋の味噌天神公園清掃でボランティア券を発行している。この券は大江校区13町内の店舗において300円の買い物券として利用できる。 ボランティア券の発行に伴い、市よりその3分の1の補助をお願いしたい。 なお、この事業は他の町内への拡大は今のところ考えていない。</p>
6	<p>中央区ぼうさいキャラバン(前回名称：防災キャラバンの開催) 9月30日(月)提案者と事業内容について協議 地域主催の防災訓練ではなく、校区で開催されるイベント(PTAバザー等)に出向き、イベントのコンテンツの一つとして、「防災・減災イベント」を開催する。 開催内容については、その地域によって地域にあった内容(地震、水害、火事等)で実施する。</p>
7	<p>「命のバトン事業」の継続 8月20日(火)提案者と事業内容について協議 託麻原校区は、平成24年度に社会福祉協議会のボランティア補助金等を利用して「命のバトン」を1000本購入し、校区内に600本配付した。この事業はとてもいい事業なので、他の校区にもぜひ取り組んでほしいと思ふ事業提案したところであるが、バトン購入の費用を捻出することが難しく、市からの購入費助成が不可欠となる。</p>
8	<p>障がい児就労体験「ふれジョブ」の拡大支援 10月8日(火)提案者と事業内容について協議 「ふれジョブ」事業について詳細に説明を受ける。 現在、一新、城西、黒髪校区で実施している「ふれジョブ」を区民に知っていただき、事業の拡大を図りたい。 ・趣旨を説明したチラシを作成し、広く配布する。 ・教育委員会に協力を依頼し、校長会議等において趣旨を説明し、児童・生徒の参加を促す。 ・公民館毎に説明会を開催したい。 対象者は 障がい児(小、中、高、PTA) ボランティア(校区の社協、民児協、青少)</p>

9	<p>井手を生かしたまちづくり 10月9日(水)提案者と事業内容について協議 熊本水遺産である渡鹿堰から分水されている各井手について、まずは区民に周知を図りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水のマップを作り、どのようにして造られどのように利用されてきたか等を若い人にも知ってもらおう。 ・将来的には井手治いのウォーキングや3つの部隊に分けての探検等参加型の事業もできたらいいと思う。
10	<p>校区の町内割入電子地図の作成と活用 8月29日(木)提案者(帯山自治会長)と事業内容について協議 町内区割り入電子地図を活用し、様々な分野に役立てたい。提案は近隣の6校区としているが、将来的には全校区分を作ってほしい。</p> <p>9月12日(木)過去に電子地図を作成した経験のあるNPO法人与協議 町内割り入りの電子地図作成は可能。作成後は、操作マニュアルにより各校区の担当者へ講習会を実施する必要あり。</p>
11	<p>地域で謡曲体験教室 10月17日(木)提案者と事業内容について協議 文豪夏目漱石が愛した熊本と謡曲の理解を深めることで郷土愛、伝統芸能への関心を広めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人から子どもまで参加して行う謡曲体験教室を、春か秋の1日か2日で夏目漱石内坪井旧居で実施。 ・大人と子どもに別々に謡曲を学んでもらい、発表会是一緒にやりたい。(3年後の夏目漱石没後100年記念のイベント等でやれたらいい。) <p>大人は公募をすれば集まるが、子どもは学校を絡めないと難しいので、学校に呼びかけてほしい。</p>